

## 第1章

# まずは準備から始めよう

1.1 Excelのバージョンを確認しよう

1.2 ワークシートに「果て」はあるのか？

1.3 何を調べるのかをイメージしてみる

Chapter

1

<この章のキーワード>

Excelのバージョン、利用目的、利用イメージ、分析環境

### ●バージョンの確認から始めよう



現在、マイクロソフトでサポートされている Excelのバージョンは2007、2010、2013です。本書では、以下のアイコンで利用できる Excelのバージョンを示しています。

2007

2010

2013

まずは、ご自身の Excelのバージョンを調べるところから始めてください。

また、本書ではできるだけ画面ショットを見て、操作がイメージできるように配慮しています。ただし、画面サイズによってメニューの表記が変わる場合がありますので、注意してください。

## 1.1 Excelのバージョンを確認しよう

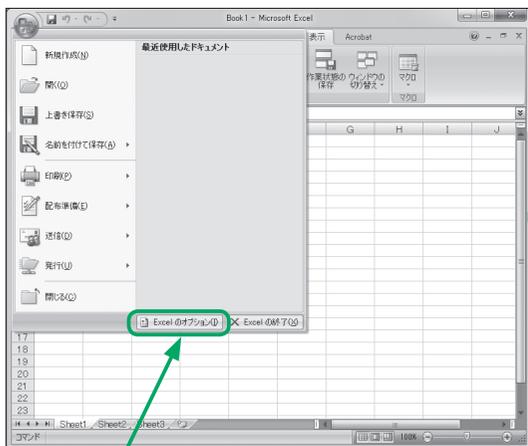
Excelのバージョンの確認方法は、利用している Excelによって変わります。メニューの内容がバージョンによって異なるためです。それぞれのバージョンによる確認を行ってみてください。詳しい確認の仕方は次ページ以降を参照してください。利用しているバージョンによって、本書で利用できる機能に違いがあります。Excelのバージョンと機能については表 1.1 にまとめました。

また、本書では最新の Excel 2013 の画面ショットを利用して解説を進めています。機能が利用できるかどうかは、3つのアイコン **2007** **2010** **2013** を参考にしてみてください。

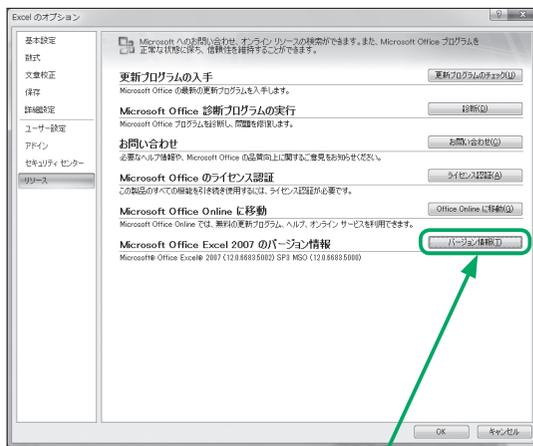
表 1.1 Excelの機能とバージョン

	2007	2010	2013
16,384 列× 1,048,576 行	○	○	○
データマイニングアドイン	○	○	○
PowerPivot		○	○
Power Query			○
Power Map			○

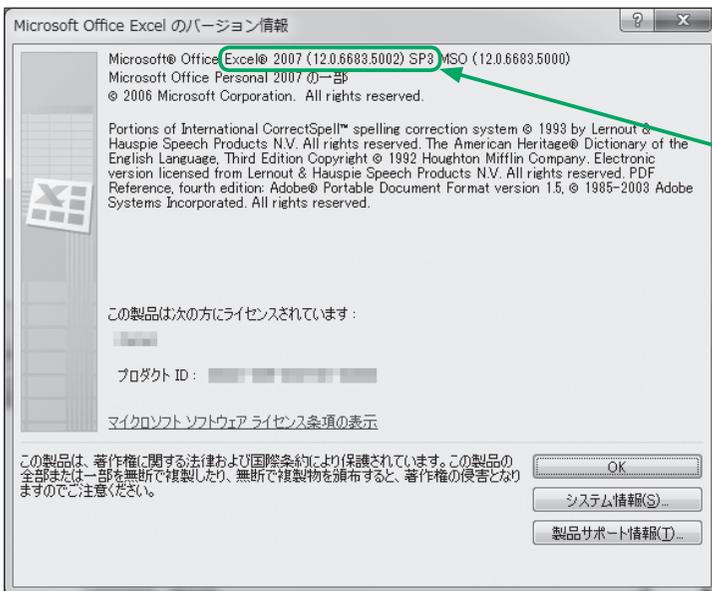




Office ボタンから「Excel のオプションボタン」をクリックする



「リソース」-「バージョン情報」ボタンをクリックする



1 行目にバージョン情報が出ている (ちなみに、Excel 2007 までは 32 ビット版しかなかった)

図 1.1 Excel 2007

「ファイル」 - 「ヘルプ」 を選択

こちらに Edition が表示される

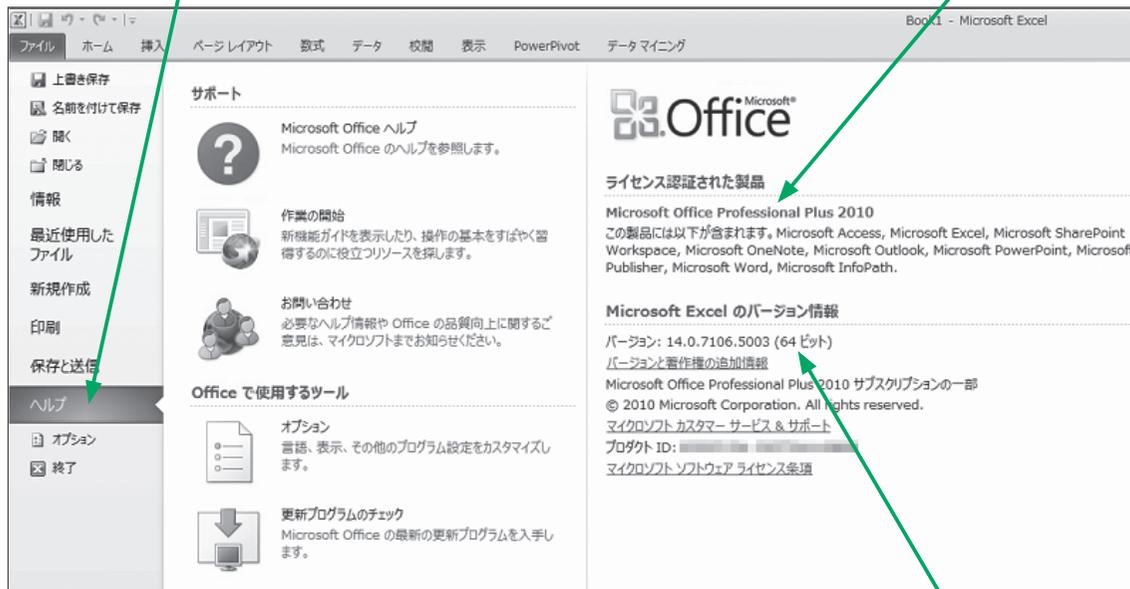
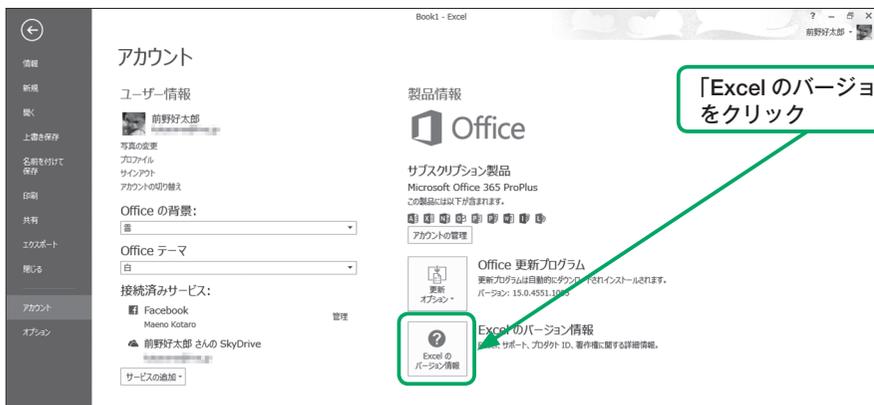


図 1.2 Excel 2010

こちらに 32 ビット版か 64 ビット版かが表示される



Excelのバージョンが表示される

こちらに32ビット版か64ビット版が表示される

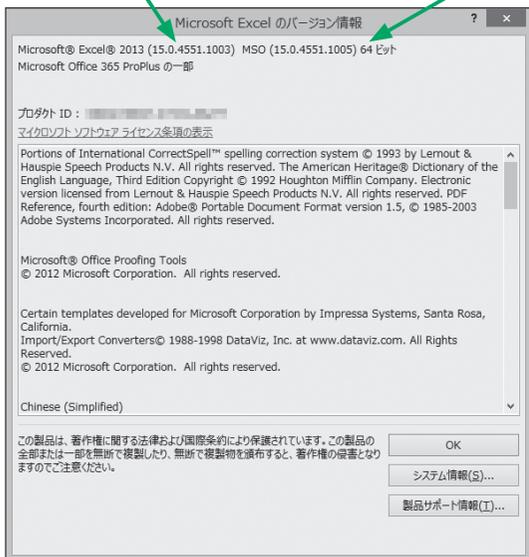


図 1.3 Excel 2013

この Excel のバージョンは、

Microsoft® Excel® 2013 version 15.X.XXXX.XXXX  
64ビット

と記載されていることから、Excel 2013であることがわかります。

また、Excel 2013の正式なバージョンはバージョン15であることが、そして64ビット<sup>※1</sup>のExcelがインストールされていることがわかります。

※1 Excel 2007、Excel 2010、Excel 2013のすべてに32ビット版と64ビット版が存在します。大きなデータを扱わない場合は32ビットが推奨されています。筆者は大きなデータを扱う機会が多いので64ビットをあえてインストールしています。